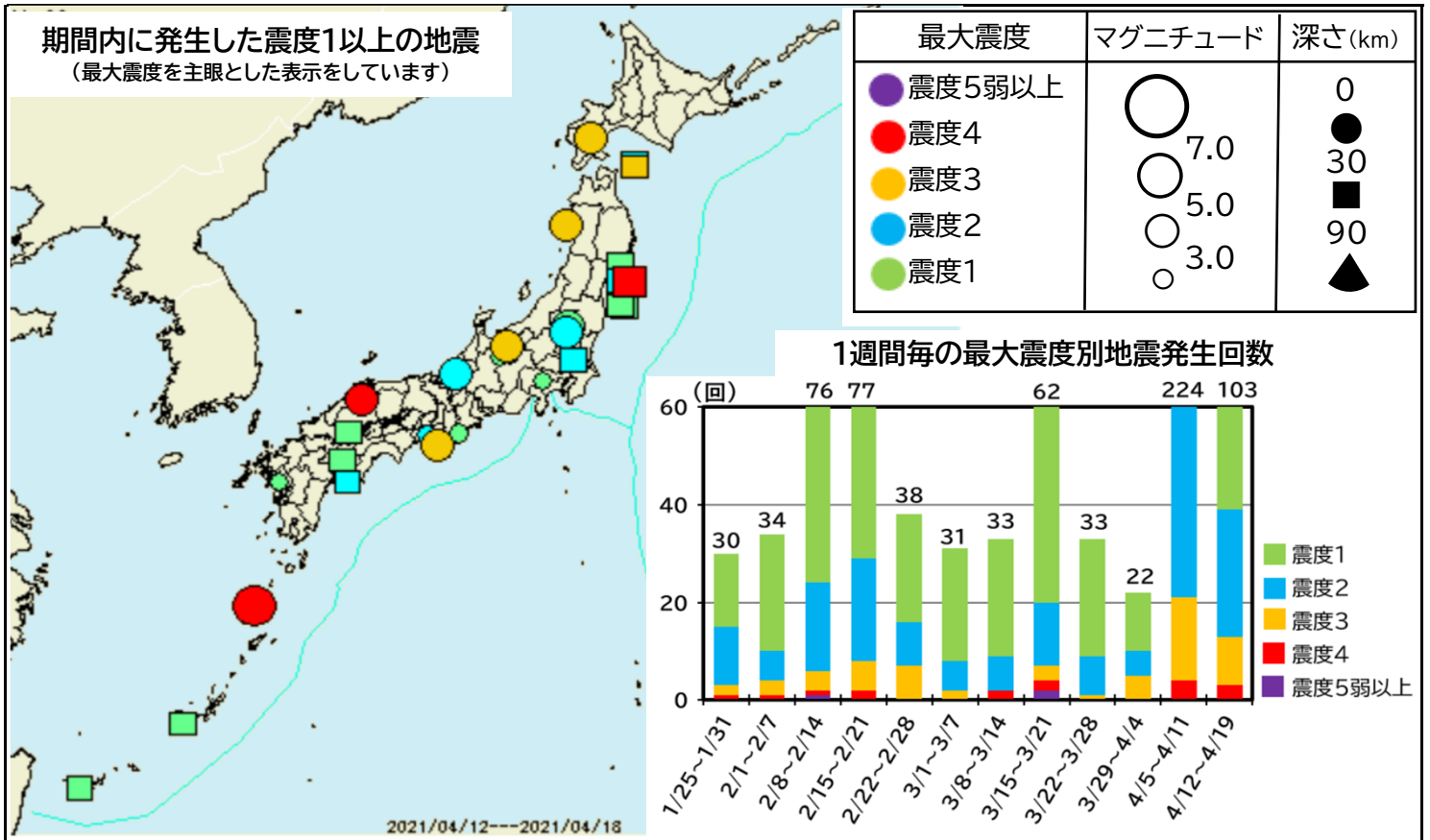


この期間の最大震度は4が3回(トカラ列島、広島県北部、宮城県沖)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が103回発生(ほとんどがトカラ列島近海)。最大震度は4でトカラ列島近海、広島県北部、宮城県沖で各1回発生
- 16日04時28分に秋田県沖(男鹿半島付近)で発生した地震(M3.9、深さ10km)により、秋田県男鹿市で震度3を観測。同地域で震度3が2回、震度1が1回発生した。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。男鹿半島付近は定常的な地震活動が見られる所で、1939年にはM6.8の地震(男鹿地震)が発生し人的被害も発生している。
- 18日05時14分に広島県北部で発生した地震(M3.9、深さ10km:速報値)により、広島県庄原市で震度4を観測したほか、島根県・鳥取県で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。この付近でM4を超える地震は少ないが、時々M5程度の地震も発生しており、今回の地震の南約16kmで2011年11月21日にM5.4の地震(最大震度5弱)が発生し、負傷者2人などの被害が生じた。
- 18日09時29分に宮城県沖で発生した地震(M5.8、深さ50km:速報値)により、岩手県一関市、宮城県石巻市と名取市で震度4を観測したほか、青森県から長野・山梨県にかけて震度3~1を観測。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。
- 広島県北部と宮城県沖で共に最大震度4の地震が発生したが、最大震度と震度1以上を観測した範囲の違いが目につく。広島県北部の地震のMは4クラスとあまり大きくないが深さが浅いので震源付近で大きい揺れとなったが震度1以上を観測した範囲は狭い。一方、宮城県沖の地震はMは5クラスと大き目の地震であったため震度4の範囲も比較的広く、震度1以上を観測した範囲も広がった。

トピックス

鹿児島県十島村小宝島近海の地震 ~その後~

- 9日から小宝島近海で発生している地震活動は、数は少なくなっているが本期間も続いている。
- この期間の最大は、12日23時01分に発生した地震(M5.3、深さ14km)で、鹿児島県十島村悪石島で震度4を観測したほか、中之島~喜界島にかけて震度3~震度1を観測した。
- 震度1以上の地震の発生回数は図・表のとおり。
- この1週間程度は発生状況に注意したいところ。

